

2023 年 出雲大社参拝と山陰旅行

右城 猛

はじめに

2 年前から高野広茂・いくよご夫妻のグループに加えていただき旅行している。今回は、西野精晃・桂ご夫妻が 2 泊 3 日の「出雲大社参拝と山陰旅行」を企画してくれた。

初日は玉造温泉の佳翠苑皆美で泊まり、翌日は出雲大社、島根ワイナリー、由志園、境港の大漁市場なかうら、お菓子の壽城を巡って湯原温泉八景で泊。最終日は真庭市の勝山町並み保存地区を観光して高知へ帰ってきた。

参加者は、高野広・いくよ、宮地勝美・満理子、西野精晃・桂、右城猛・絹枝の 4 組の夫婦の 8 名。添乗員はリリー濱口こと濱口正さん。

玉造温泉「佳翠苑皆美」

11 月 11 日 12 時 30 分に 18 人乗りのマイクロバスで岡豊苑を出発。米子自動車道を北に向かって走っていると、東の空に虹の橋が架かっていた。私たちの旅を祝福してくれているようであった。

17 時、「佳翠苑皆美」に到着。玉造温泉には 4 度来ている。佳翠苑皆美に宿泊するのは 2 度目。平成 25 年の高知県橋梁会の見学旅行で来たときに泊まった。ホテルの部屋から山陰自動車道の 3 径間連続 PC 箱桁橋を見た記憶が蘇った。



東の空に虹の橋

食事までの時間を利用して、ホテル周辺を宮地ご夫妻、西野ご夫妻と一緒に散策した。

三角形と半球体を組み合わせた斬新なデザインの建物が目に入った。平成 8 年に約 30 億円を投じて造られた温泉浴場施設「玉造温泉ゆ〜ゆ」である。大浴場、露天風呂、大ホール、会議室、レストラン、休憩室などがある。



玉造温泉の玉湯川



玉造温泉ゆ〜ゆ



玉湯川に架かる勾玉橋

建築家高松伸氏による設計で、勾玉(まがたま)をイメージしてデザインされている。2年前、築25年しか経っていないのに廃止を検討していることがニュースになっていた。雨漏りや給湯配管の取り換えで約2億円の補修費がかかることが理由であった。存続が決まったのだろうか。

佳翠苑皆美で宴会

大浴場の温泉に浸かって疲れを癒やした後、18時半から宴会が始まった。

11月7日はいくよさんの誕生日。サプライズで花束が贈呈され、高知から持参したバースデーケーキで81歳を皆で祝福した。

いくよさんが生まれたときの名前は千昭(ちあき)。病弱であったことから出雲さんに頼んで改名してもらったそうである。59年前の新婚旅行が玉造温泉であった。81歳をここで迎えられたのは不思議な巡り合わせである。

食事の後、着物姿で化粧したリリー濱口さんが突然現れた。そして「糸の半分 私が持つわ 残りの半分俺が持つ・・・」という演歌「絆」が流して演舞が始まった。

濱口さんが伝説の添乗員だということに納得できた。

とさでんトラベルの添乗員時代、旅行の日程をリリーさんの空いている日に合わせると言われるほどの人気振りだったようである。



甥の西野さんから花束贈呈



バースデーケーキ



「絆」の曲で踊るリリー濱口

皆美や八景の従業員でリリーさんを知らない人はいない。それほど有名である。

土佐電鉄の車賞として入社したが、とさでんトラベルに移籍した。それから埋もれていた才能が

一気に開花し、水を得た魚の如く、他の追随を許さない活躍振りであったようである。

舞踊ショーの後は、カラオケ大会。トップバッターは西野精晃さん。

2番目にマイクを握ったのは高野広茂会長。「破れひとえに三味線だけば よされよされと雪が降る・・・」。北島三郎の「風雪ながれ旅」を歌われた。86歳とは思えない声量がある。歌に心がこもっていた。若かりし頃の苦しかった自身の人生が被っているのだろう。あまりにももの上手さに、全員が驚いた。

「NHK のど自慢に出場すれば、鐘が三つなると思う」は、家内の評価である。

数ヶ月前に友人とカラオケに行ったとき、高野会長が歌い出すと、友人が話しを始めて聞いてくれなかった。それに悔しくて、CDを買ってきて一週間練習をしたそうである。

もうすぐ米寿である。それでもなお向上心を持って努力する姿勢は、見習わなければいけないと思った。

皆の歌を聴きながら、昔のことを思い出していた。30年以上も前のことである。二次会でスナックに行くと歌わされるので、村田英雄の「あゝ万次郎」を練習していたことがある。練習しても一向に上達しないので諦めた。

宴会が終わったのは21時40分。3時間が過ぎていた。予約できた部屋は2部屋であったので、女性組と男性組に別れて寝ることにした。



風雪ながれ旅を熱唱する高野広茂会長



3番手は高野いくよさん



トップにマイクを握る西野精晃さん



4番手は72歳の宮地勝美会長



5 番手は西野桂さん。

佳翠園苑皆美の歴史

佳翠園苑皆美は、明治 21 年に皆美清太郎が宍道湖畔に旅籠皆美を開業したのが始まりである。昭和 27 年玉造温泉皆美別館を開業、昭和 63 年「佳翠園苑皆美」に改名し、現在の建物にリニューアルしている。



佳翠園苑皆美の庭園



佳翠園苑皆美を出発前に記念撮影

出雲大社

出雲大社は「いずもたいしゃ」と通常読んでいるが、正式名称は「いずもおおやしろ」だそうである。大社を名乗ることが出来るのは、ここだけ。

祭神は、大国主命(おおくにぬしのみこと=だいきくさま)。縁結びの神様である。

今日の天候は生憎の雨。残念なことに参拝の時間帯に雨脚がもっとも強かった。

日曜日のためか、インバウンド客が多いためか分からないが、雨だというのに参拝客が多かった。

第一コンサルタンツは今年、創立 60 周年。人間の本厄に当たる。前厄の昨年、独占禁止法疑惑で公正取引委員会に調査に入られた。本厄の今年、高知県や県内市町村、四国地方整備局から指名停止処分の通告を受けた。指名停止処分は後厄の来年まで続く。

厄年を乗り越えなければならない。厄払いをしてもらいたかったが、先約がたくさんおり断られた。

本殿の前で、普段の 10 倍のお賽銭を入れて、社業の発展を念入りをお願いしてきた。



日本一の巨大しめ縄が掛けられている神楽殿



奥の高い屋根の建物が国宝の本殿



雨の降る中で高野広茂会長と

島根ワイナリー

出雲大社から5分ほどの所に島根ワイナリーがある。出雲大社に来るときには、いつもここに立ち寄っている。

無料の試飲コーナーでは何度か試飲したことがある。有料の試飲コーナーがあることはリリースさんの説明を聞くまで知らなかった。

私の口に合いそうな、「濃厚でどっしりとした赤ワイン」を注文すると、「横田」を勧められた。無料の試飲コーナーのワインとは比較にならない美味さであるが、このワインも渋みが強く私の口には合わない。

後で、島根ワイナリーのホームページを調べると、このワインは750mlが5,800円する。日本ワインコンクール2023銀賞を受賞していた。



島根ワイナリー



横田の試飲料金は、ワイングラス1杯が600円

大根島の由志園

県道 260 号を走って由志園に向かう途中、私が開発して全国的にヒット商品になったプレキャストガードレール基礎「プレガード」が施工されていた。つい嬉しくなって、スマホのシャッターを押していた。

左前方に江島大橋が見えてきた。平成 16 年に松江市と境港市を結ぶために架けられた橋長 1,700m、最大支間 250m のプレストレストコンクリートラーメン橋である。

由志園には平成 20 年 5 月に家内と二人で、令和 3 年 4 月には高野広茂・いくよご夫妻と来ている。いずれも牡丹の季節である。3 度目の今回は、日本庭園の紅葉を堪能することができた。



ガードレール基礎「プレガード」



江島大橋

由志園は、初代園主門脇栄が昭和 42 年に 1 台のブルドーザーで造園に着手したことから始まった。昭和 50 年に築山式の日本庭園を開園。その後造成を重ね、現在では約 1 万 2 千坪（4 万平米）の池泉廻遊式日本庭園となっている。

栄の父・由蔵が夢見志した庭園であることから、「由志園」と命名されたようである。

由志園に到着したのは 12 時 30 分であった。昼食は食事処「禅」で懐石料理を食べた。とても美味しかったので、少し食べ過ぎた。



由志園の入り口



由志園の食事処「禅」で会席料理の昼食



昼食を済ませてこれから園内を散策



紅葉で美しい由志園の日本庭園

大漁市場なかうら

境港市の「大漁市場なかうら」に寄る。松葉ガニ漁の解禁は11月6日。山陰地方ではズワイガニの雄を「松葉ガニ」、雌を「セコガニ」と呼ぶ。

大漁市場では、生け簀に入った松葉ガニ「活」と松葉ガニ「ボイル」、紅ズワイガニ「ボイル」が売られていた。

境港は紅ズワイガニの水揚げ量全国一。9月から6月にかけて漁獲する。松葉ガニと味に大きな違いはないが、漁期が長くてたくさん獲れることや、水分が多く日持ちがしないことなどから値段は安い。

ズワイガニの雄のことを福井県では越前ガニ、石川県では加能ガニと呼ぶ。数日前の新聞で、「加能ガニの初競りがあり1匹300万円で落札された。令和3年には1匹500万円で落札された」と報じられていた。

この市場では、野菜も売られていた。キュウリが段ボール1箱800円で売られていた。安いのには驚いた。



大漁市場なかうら



ボイルされた松葉ガニ



ポイルされた紅ズワイガニ



湯原温泉「八景」

湯原温泉八景

菓子壽城によった。皆がお菓子をかう間、高野会長と西野ご夫妻と私の 4 人は 2 階の展望茶楼「すなば珈琲ワールド」で珈琲を飲みながら一休みする。

湯原温泉の八景に着いたのは 17 時。大浴場の温泉に浸かって、18 時 30 分から会食。

朝 6 時、目を覚ますと外は雪。今年雪を見るのは今日が最初。外の雪を眺めながら部屋の中にある温泉風呂で体を温めた。

ホテルを出発する 9 時には雪は降り止んでいたが、駐車してある車には雪が積もっていた。



前回と同じ内風呂付きの部屋「木だち」(R3 年撮影)



18 時 30 分から会食



7 時 22 分に部屋のベランダから撮影



車に積もった雪

真庭市勝山町並み保存地区

当初の予定では、3日目は真庭市の「神庭の滝」、岡山後楽園散策、倉敷美観地区街歩きをして17時過ぎに帰る予定であった。しかし雪が降っていたこともあり、真庭市の勝山町並み保存地区のみ観光して帰ることになった。

町並み保存地区に到着したのは、9時40分。店がまだ開店しておらず、観光客の姿も見えなかった。



白壁の町並み



こちらの通りも人気がありそう

あとがき

高野ご夫妻と私たちが一緒に旅をしたのは、平成30(1918)年5月に3泊4日で大連に行ったのが最初であった。高知丸高が採用する中国人実習生を選抜するのが目的であった。

2度目は高知丸高が建設工事に関わった広島空港大橋そして由志園を見物し、高野ご夫婦が常宿にしている湯原温泉「八景」に宿泊した。

3度目は令和4年5月に祖谷温泉「ホテル秘境の湯」に宿泊し、祖谷のかずら橋、定福寺を観光した。9月には、私の肺癌の快気祝いを兼ねて東洋町の「農家民泊野根家」に宿泊した。

5度目は令和5年3月に湯村温泉「井筒屋」で泊まり、長楽寺、鳥取砂丘の「砂の美術館」、鳥取港海鮮市場「かろいち」を観光した。

今回が6回目になる。皆さんと一緒にいると、いつも心が癒やされ、英気を養うことができる。

今、現役で働いている私の同級生や同僚は少ない。リタイヤしている。私もそろそろ限界かと思うときがある。しかし、高野会長たちと旅行すると、知らなかった会長の側面を垣間見ることができ、まだまだ夢を追っかけて頑張らなければという気持ちにさせられる。

2023年11月14日